

平成 29 年度 児童生徒の平和に関する図画・作文コンクール〈審査員一同〉 図画の部【講評】

今年度の応募点数は、小学校 1,546 点、中学校2点の応募点数でした。
審査は、次のことを基準に進めていきました。

- 1.コンクールの趣旨「戦争と平和について考えるとともに、平和を尊ぶ心を育む機会とする」
- 2.内容として「沖縄戦について直接体験者から聞いたり、映画を見たり、本などを読んで感じたことを自由に描く。」小学校低・中学年においては「身近な生活の中での平和や共生、人権教育の視点による作品も含める」
- 3.上記1、2の趣旨と内容を表現するための形や色、画面構成などがそれぞれの校種や学年の発達段階に応じた作品になっているかなど。

◎審査結果の総評

応募された全作品とも、コンクールの趣旨をよく理解し、各学年とも発達段階にふさわしい表現をした素晴らしい作品がたくさんありました。

特に低学年の作品は、表情が明るくのびのびとしたものが多かったです。どの作品も、身近な生活の中での平和や共生、人権教育の視点による作品で画面構成なども、校種や学年の発達段階に応じた作品になっていました。色使いや表現力が素晴らしい作品が多く審査をするのに大変苦労しました。

村長賞 喜名小学校 1年 村山 百愛

画面いっぱいに、人物の顔が描かれ表現が豊かで、特に目の表情がかわいらしく生き生きとしています。作品の題名が「なかよし!」で顔の表情が豊かで色使いも良く、仲の良い雰囲気伝わってくる絵であります。クレヨンで人物を描き、バックを青い絵具でぬり、人物を浮き立たせる工夫がされていてとても明るい作品です。洋服の柄や色も工夫されていて、目・鼻・口なども一年生らしい素直な心で表現されていていい作品ですね。

教育長賞 渡慶次小学校 2年 新垣 陽斗

見ていると笑顔になれる作品であります。子ども 2 人の表情も豊かで今にも笑い声が聞こえてきそうです。畑にはゴーヤーやニンジン、パイプでしょうか、手にはリンゴ、よく見ると鳥や蝶々など、色々描かれていて画面全体から和やかな雰囲気が

伝わってきます。まさに身近な生活の中での自然との共生が描かれた作品に仕上がっていますね。人物や動植物たちの描き方や周囲の緑や下地の黄色の色彩の融和など、平和だからこそ描ける絵のように思えます。

教育長賞 渡慶次小学校 4年 豊濱 華

描かれている四人の人物の肌の色が違う子どもたちの、それぞれの表情が素晴らしいです。一見同じように見えるが細かな違いが丁寧に描かれています。四人の首元にあるおそろいのネックレスで平和をともに願う表情が面白いです。人種の違いを肌の色で表現して、世界の人々が仲よく肩を組んでいて、現在も起こっている「人種差別の争いを止め平和な世界を築こう」というメッセージが伝わってくる内容の深い作品ですね。

教育長賞 古堅小学校 6年3組 古堅 美月

高学年の応募作品は、ポスターのような表現が多かった。この作品は全体的な画面構成が素晴らしくまた丁寧な筆使いで色彩がきれいです。二人の肩を組んだ女の子の笑顔と平和のシンボルの鳩や、色々な国の国旗や虹、そして中央に地球儀のような地図が描かれ、色鮮やかな花々があり和やかな平和な感じがします。